

山梨ライトハウス

第80号

発行/社会福祉法人 山梨ライトハウス 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1

TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124 URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp/>



山梨県盲人福祉センター（点字図書館）
電話/055-222-3502・223-1113（貸出専用）
青い鳥ホーム 電話/055-252-8994
青い鳥成人寮 電話/055-224-5060
青い鳥支援センター 電話/055-221-1260
青い鳥老人ホーム 電話/0553-26-6631
青い鳥ケアホーム 電話/055-235-5566



山梨ライトハウスの理念は
「視覚障害者の未来を照らす
光の道標となること」です。

CONTENTS

| | |
|-----------------|-----------------|
| バリアフリーらいふ……………1 | 寄贈CD図書の紹介……………5 |
| ライトハウスニュース…2・3 | 成人寮作品展・福祉講話…6 |
| 今、福祉は………………4 | 募金のお願い……………7 |
| 青い鳥学園卒園者の集い…5 | お知らせ……………8 |



講習会受講の様子

触って「見る」楽しさ

バリアフリーらいふ

「皆さん、点字教室は前回で終わりました。五十音や濁音の書き方、もうマスターしたわよね」

盲人福祉センター二階の会議室。講師の天野久美さんの元気な声が響き渡ります。

六月からスタートした「点訳養成講習会」は、今日が三回目。毎週、宿題が出

され、天野先生が間違いを指摘しながら返却します。二回目から参加した私は、書く時の凹面と読む時の凸面がころんがらかつて、四苦八苦。

そんな事情はさておいて、講座はスピーディに進行します。「今日からは、点訳の基本を学んでいきますよ」

点訳は原則として現代仮名づかいに基づいて書きます。「でも、助詞の「は」と「へ」は、発音通りに「ワ」「エ」と書きま

とつて、山梨ライトハウスでの日々は新鮮な驚きでいっぱいです。

これまで私は新聞記者として福祉の現場を数多く取材してきました。老人ホームや障がい者施設を訪れ、そこで起きていることや課題を記事にしてみました。それで分かったつもりでいたのです。

しかし最近、私に変化が起きていることに気づきました。

目で見るのではなく、触って感じ取って見ることが出来る世界。それを教えてくれたのが「点字」でした。

記者の時代に外から見てきた世界ではなく、ライトハウスの一員となったことで、これまで気づかなかった新しい世界が目の前にあります。

触って「見る」宇宙は、果てしなく広いでしょう。でも、一步一步進んでいきたいと思えます。どうぞ、これからもご支援よろしくお願ひします。



萩原理事長

山梨ライトハウス

理事長 萩原満治

ライトハウスニュース

NEWS NEWS NEWS

● 盲人福祉センター

モニター委嘱

六月五日(火)盲人福祉センター二階研修室において、モニター委嘱並びに今年度第一回目の懇談会を開催しました。モニターに委嘱されたのは、当館利用者から四名、奉仕団の点訳者・音訳者から各一名ずつの計八名です。

はじめに、萩原理理事長が就任とモニターへの協力についてお願いの挨拶をいたしました。その後、モニター一人一人に所長から委嘱状をお渡ししました。

続いて、青い鳥成人寮と支援センターの見学をして頂きました。モニターの方々からは、入所条件やサービス内容、職員体制などについて熱心な質問がありました。また、施設の清潔さに関心されたり、成人寮の入所者が描いた絵画や陶芸作品に感動されていました。



懇談の様子

懇談会では見学した施設の感想やご意見を頂き、青い鳥ホームの紹介や盲人福祉センターの今年度事業計画、白い杖愛護月間行事「生活体験文」の募集についての説明をしました。次回十二月には、青い鳥ケアホームと盲人福祉センターを見学して頂く予定です。

モニター各位から様々なご意見やご要望を頂き、より良いライトハウスの施設運営や福祉サービスの向上に役立てられるように、どうぞ一年間宜しくお願いいたします。



成人寮の見学



支援センターの見学

● 青い鳥老人ホーム

バルサン消毒と外食会

六月七日に、一年で最も大規模な行事が行われました。それは館内のバルサン消毒です。利用者の全居室にバルサンを焚きます。その間に、職員総出で廊下を洗浄・ワックスを掛けます。ワックスが乾く頃にはバルサンは焚き終わり、全居室の清掃・シート交換を行います。一日かけて隅々までピカピカにします。その間、入所者は何をしているのでしょうか？ 隣にある、ホテル春日居の宴会場で外食会を楽しみます。中華弁当を食べ、朗読を聴き、カラオケを歌って過ごします。居室さつぱり・栄養たっぷり、来る夏に備えます。

さくらんぼ狩り

今年も利用者の皆さんが心待ちにしている時期がやってきました。六月十二日・十四日の二日に分かれ、山梨市の農園にさくらんぼ狩りに出掛けました。梅雨入り後のため、天候が心配でしたが、二日間とも天候に恵まれ、初夏の陽気となりました。農園には赤くて大きなさくらんぼがたくさん実っており、「今年のさくらんぼは甘くて美味しいね」「これならいくらでも食べられそう」と皆さん次々と口に運んでいきます。お腹いっぱいさくらんぼを食べ、「一年分のさくらんぼを食べちゃった」「また来年が楽しみ」などの声が聞かれました。



いっぱい食べるよ



甘くて美味しい

● 青い鳥成人寮

開設記念

六月九日、青い鳥成人寮の第四十二回開設記念お祝い会が行われました。今年度は甲府工業高校吹奏楽部の皆さんによる演奏から始まり、アンサンブルでの演奏は童謡のオムニバスから上を向いて歩こうなど、利用者さんの知っている曲も多く会場からは自然と手拍子が沸き上がりました。次々に演奏者と楽器が変わるパフォーマンスに夢中になる利用者さん。身体を楽器にしたボディパーカッションや合唱など緩急のあるプログラムであつという間に時間は経ち、クライマックスは総勢一十八名による演奏。約十種類の楽器が奏でる音は身体に振動が走るような迫力で見えない利用者さんや耳の聞こえない利用者さんにも伝わっていました。

心に残る素敵な演奏を聴いた後のお楽しみは豪華昼食。ジュースで乾杯をした後は大盛りのおネギトロ丼に舌鼓。「昔は○○ちゃんがいなくて遊んだよね」「作業でハガキも作ってたもんね」「ハワイに行ったこともあったよ」などなど昔話に花を咲かせました。

青い鳥成人寮の四十二回目の誕生日。そこには四十二年分の思い出があります。青い鳥学園や青い鳥成人寮開設当初から在籍している利用者の方が減っていく中で、新しい職員は増え昔の様子を知る機会も少なくなりました。

成人寮だけでなく利用者さん一人ひとりも、昔があつてこそ今。今に至るまでのエピソードを語り継ぎながら大切にしていきたいと改めて感じた日でした。



いただきます~す!



素晴らしい演奏でした!

日中一時支援事業 活動報告

今年GWを明けた頃から暑い日が続きますね。支援センターのスタッフも「暑い暑い」が合言葉。それでも訪問先では「暑い中ありがとうございます」と、温かい言葉をかけて頂き、ヘルパー冥利につきます。スタッフ同士も暑さ対策の情報交換をしたり、利用者様がこの夏をどうやって乗り切れるか対策を考えたります！



ぜんぶ手作り!



上手に麺がつかめるかな?



お腹いっぱいになりました!



美術館へ



光の魔法にびっくり

日中一時事業も月一回の行事を楽しんでいますよ。五月には、ハーモニカの音楽鑑賞(さくらハーモニカクラブ)。六月にはスポーツ教室。七月には流しそうめん大会!どれも恒例行事ですが毎年少しずつ楽しみも増え賑やかさが増えています。今回は流しそうめんの報告をしましょう。毎年、竹を切るところからスタートですが今年はこの猛暑。数日前に切り取った竹が縮んでしまい急遽前日に再切り出し。アタフタしましたが無事当日を迎えました。当日は三十五度超えの暑い日で、予定していたサッカー大会は中止し皆で美術館へGO! 特別展にうつりながら芸術を堪能しました。その間手作りの肉団子やてんぷらを調理してくれる利用者様もいて、流しそうめんを楽しみたい!という意気込みが伝わってきました。もちろん流しうめんは大成功! 暑さを吹き飛ばすような楽しい時間でした。また来年もお楽しみに〜。

パンに飯

青い鳥ケアホームを短期でご利用頂いている方が、北杜市のおいしいシチュー屋さんだと知り、入居者さん達は興味津々。早速食べに行こうという話になりました。大勢なので職員が先に注文を聞き、予約してから行くことに。ある職員は、メニューが書かれた紙を読み上げ「どれにする?」と尋ねました。書いてある情報以外を言うことは誘導に繋がると考えたからです。別の職員は、「タンは牛の舌: テールは: ハンバーグは知ってるね」とスマホで画像を見せながら決めてもらいました。食べたことがないメニューも選択肢に入れて欲しかったからです。

障害者支援における意思決定支援とは、「自ら意思を決定することに困難を抱える障害者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるよう、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援し、本人の意思の確認や意思及び嗜好を推定し、支援を尽くしても本人の意思及び嗜好の推定が困難な場合には、最後の手段として本人の最善の利益を検討するために事業者の職員が行う支援の行為及び仕組み(厚生労働省ガイドライン引用)」をいいます。

いずれの職員も利用者自身の決定を意識し、異なる手法をとりました。どちらが良いとも悪いとも言えませんが、何を食えるかという些細な選択から福祉サービスの選択など人生に関わるものまで、意思決定への支援を模索でき悩みや喜びを利用者と共感できるのがこの仕事だということは言えるでしょう。

さて当日、それぞれが選んだコース料理にドキドキでしたが、「パンにしますか、ご飯にしますか?」の問いに「俺、あんぱん!」と答えたKさんのおかげで、「気にその場は和みました。でも、これもKさんの意思の表出ですね。おいしいシチューを堪能した後日、Kさんは職員との散歩がてら、あんぱんを買いました。」



満足顔のKさん

涼を求めて

青い鳥ホームでは、七月十八日(水)甲府盆地を離れ、北杜市清里の清泉寮へ避暑に行つきました。十八日の甲府の気温は三十八度でした。六月二十九日気象庁



美味しいおそばをいただきました。

甲府地方気象台では、平年より二十一日早く、昨年より七日早い。県内の梅雨明けが確定すれば統計を始めた一九五二年の観測史上最速で、六月としては初となるようです。

それにしても甲府は暑い。特に梅雨時の暑さは蒸し風呂のようです。二十九日は気温が上昇し、最高気温が甲府で三十四・三度となりました。七月に入るや三十七・三度を記録し全国でも一、二位を争います。しかし、甲府から車で約一時間、北杜市清里は甲府との温度差が七・八度あり、草原の爽やかな風とともにソフトクリームは絶品です。日頃、患者さんを一生懸命マッサージしているホームの皆さんにとって一瞬の癒しです。

清里へ向かう途中でお腹を満たします。長坂町の三分一湧水近くにある「そば処三分一」は、おいしいそばを食べることが出来ます。視力に障害があるとざるそばは苦手とする方が多いようですが、そこはホームの皆さん慣れたもので、そば猪口に上手にそばを入れ「ツツ」と良い音ですすります。

三分一湧水は、豊富な水量を誇る湧水を農業用水として利用するための堰です。戦国時代の頃、水争いをしてた三つの村に等配分するために武田信玄が築いたという伝説が残っています。湧水は日本名水百選にも選定されています。皆さんも機会がありましたら、ぜひ涼を求めて行ってみることをおすすめします。



三分一湧水にて

便利な日常生活用具の紹介

夏、真っ盛り。熱中症を気にしながら毎日お過ごしのことと思います。今回ご紹介する用具は、ロービジョン（見えにくい方）の商品です。

「LEDワイドライトルーペ」

「LEDワイドライトルーペ」は、ルーペを作り続けて約一世紀の歴史を持つ、ドイツ屈指の光学機器メーカー・エッセンパツハ光学の商品で、歪みのない「PXM 光学樹脂」素材のPXM非球面レンズを使っているため、非常に透明度が高く、光をよく通します。

アクリル製のレンズの場合、年数が経つと変色し、透明度が落ちる場合がありますが、エッセンパツハ独自開発素材、PXMの光学樹脂にはその心配がありません。LEDの明かりで薄暗い場所でも明るく、はっきりと見ることができます。LEDの照明がまぶしい方のために輝度調節のキャップが付属されています。また、4倍の角型は、新開発の「ディフラクティブレンズ」(ガラスの表面に無数もの溝を掘った特別なガラス)で隅々まで歪みが少なく、広い面積を見たい方にお勧めです。レンズは非球面レンズで、環状の線があります。



— 仕 様 —

- | | |
|---|---|
| <p>■ 4倍：角型(環状線あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズ有効寸法：75×50mmΦ(7.7)直径 ・大きさ：(幅)185×(奥行)58×(高さ)28mm ・重 量：140g ・価 格：16,415円 <p>■ 3.5倍：角型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズ有効寸法：75×50mmΦ ・大きさ：(幅)185mm×(奥行)58mm×(高さ)28mm ・重 量：157g ・価 格：11,880円 <p>■ 3倍：丸型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズ有効寸法：60mmΦ ・大きさ：(幅)170mm×(奥行)68mm×(高さ)27mm ・重 量：125g ・価 格：10,800円 <p>■ 5倍：丸型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズ有効寸法：58mmΦ ・大きさ：(幅)170mm×(奥行)68mm×(高さ)27mm ・重 量：131g ・価 格：10,910円 | <p>■ 6倍：丸型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズ有効寸法：60mmΦ ・大きさ：(幅)165mm×(奥行)65mm×(高さ)28mm ・重 量：114g ・価 格：11,665円 <p>■ 7倍：丸型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズ有効寸法：35mmΦ ・大きさ：(幅)148mm×(奥行)48mm×(高さ)27mm ・重 量：88.5g ・価 格：8,965円 <p>■ 10倍：丸型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンズ有効寸法：35mmΦ ・大きさ：(幅)148mm×(奥行)48mm×(高さ)27mm ・重 量：89g ・価 格：9,505円 |
|---|---|
- ※それぞれ付属品として単3電池×2本がつかます。
興味のある方やお求めになりたい方は、点字図書館までお問い合わせください。



一覧表を見ながら点字で自分の名刺と簡単なカード作り



白杖の持ち方・使い方を教えてもらいアイマスク歩行体験



お弁当の中身や位置の説明を受け、アイマスク食事体験



盲導犬の役割について
(山梨県立盲学校:酒井弘充先生)

この体験を通して、目が見えないということを考え、理解していただけたいと思います。

盲人福祉センターでは、七月三十日(月)に小学生と保護者を対象に「目が見えないってどんなこと?」を開催しました。当日は、児童二十名、保護者十三名あわせて三十三名のみなさんに参加していただきました。

夏休み体験会

青い鳥学園交流の集いを開催して

都留支部
相沢幸雄

去る六月十日の梅雨のさなかではありましたが、二〇一二年以来六年ぶり六回目の、青い鳥学園交流の集いを行いました。今回は、甲府駅セレオの五階のサロン・ド・エクランで、午前十一時三十分から午後十四時三十分まで開催いたしました。今回参加した方々は、青い鳥学園の元職員が三名、ボランティアさんが二名そして卒園者は十五名の合計二十名でした。

青い鳥学園卒園者を代表して返田順子さんの司会で、亡くなられ



それぞれの思い出を話しました

た花形先生ご夫妻の思い出や、それぞれの近況報告を語り、そして目の前のお膳の料理に舌鼓をうちながら、楽しい一時を過ごしました。時間は瞬く間に過ぎていきま

私、相沢幸雄の幸せ音頭を皮切りに、舟木一夫の高校三年生、修学旅行を合唱し、最後は私のハーモニカに合わせて、学園広場で幕を閉じました。

ここで、今まで実施された青い鳥学園交流の集いについての年代と場所などを簡単にお話しします。最初は、二〇〇四年の九月十八日・十九日の二日間の日程で、笛吹市のかんぼの宿で行いました、その時の参加者は二十九名でした。それから二回目は二〇〇六年、甲府の要害温泉で行いました、参加人数は二十一名でした。三回目二〇〇八年、笛吹市窪中島のかえで荘、参加人数は四年前に比べて大幅に減少しましたが十三名の参加者がありました。また、この年が飯野先生の青い鳥学園交流の集いに参加された最後の年になってしまったとは、誰一人信じられない様子でした。それから四回目は二年後の二〇一〇



美味しい食事を摂りながら

年、飯野勝子先生が眠っている躑躅ヶ崎の丘での青い鳥学園交流の集いとあって、何となく一抹の寂しさを感じながらの開催でした。五回目は二年後の二〇一二年でした、新しく建て替えられたかえで荘での青い鳥学園交流の集いで、カラオケなどして、とても楽しい一時を過ごすことができました。

*青い鳥学園とは、昭和三十八年三月一日盲児施設として開設されました。温かい家庭的な雰囲気の中で盲児の育成指導が行われてきました。平成元年青い鳥成人寮と吸収合併となり閉園となりました。

寄贈CD図書 紹介

八田雅子様より「楽しんで、聞いてもらえたら」と新潮CD・横浜CD文庫などなど六百二十五枚のCDを寄贈していただきました。ありがとうございました。

図書の受入れ作業が進みましたので、報告させていただきます。

寄贈していただきましたCD図書は、広報うるおいと山梨ジャーナルで順次紹介し多くの皆様に利用していただきたいと思います。



寄贈されたCD

青い鳥成人寮 作品展を終えて

7月20日～22日の3日間、今年もオギノリバーシティ店ふれあい広場にて開催しました。1年間かけて、利用者が職員の手添えの下一生懸命作り上げた、数多くの陶芸品・手芸品・絵画などの作品を展示することが出来ました。来場したお客様には個性あふれる作品を、時間をかけてゆっくりと手に取って見て頂きました。特に人形の置物を手にとったお客様からは「可愛いですね」と褒めて頂き、他にも「見えないのに凄いですね」「味がある作品でいいですね」などのお言葉を頂きました。



来年もよろしくお祈いします

利用者にも展示会のお手伝いをして頂き、緊張しながら「いらっしゃいませ」と声を出し、自分で作った作品をお客様に紹介していました。また、自分の作品を購入して頂いたお客様に「作者さんなんですよ、毎年買っているんですよ。また来年楽しみにしてますね」と言われ、握手して直接お礼を伝えていました。お客様と対面して話す事でこれからの作業活動への励みになっているようでした。



全体の様子

武川小学校で福祉講話

青い鳥成人寮
生活支援員(歩行訓練士)
野中 健



少々緊張していました

六月五日、北杜市立武川小学校四年生の「目の不自由な方の思いと、支える方の願いを考えよう」という総合学習の時間に、当事者の方とお話をさせていたいただきました。

前半は、「歩行訓練士とはどんな仕事なのか」という内容の話をしました。児童の皆さんは、歩行訓練士という仕事については初めて聞いたようでした。

また、「気をつけてほしいこと」という内容の話を、クイズ形式で進めました。「目の見えないひととはスマートフォンが使えないのか」という質問では、半分くらいの児童が「使えないと思う」に手を挙げていました。小学校四年生なのでスマートフォンはあまり身近でないのかもしれませんが、ボイスオーバーや白黒反転などの機能を実際に見せると、皆さん興味深そうに見つめていました。

後半は、アイマスクを使って、手引きと白杖歩行を体験してもらいました。「なにがあるのか分からなくて少し怖かった」「言葉掛けや気遣いが難しかった」という感想があり、目が見えないことの困難さや支援の難しさを少し伝えられたように思いました。同時に、「当事者の方の、色んなことをあきらめずにやってみてほしい」という言葉が心に残った。「これからは、目が見えなくて困っている人がいたら助けていきたい」という感想を聞いて、頼もしさを感じ、大変嬉しく思いました。

私も当事者の方も、児童の前でお話するのは初めてだったので、相当に緊張しておりました。終了後、お互いに「もっと上手く話せなかったかな」と反省しておりました。しかし、後日児童の皆さんからいただいたお手紙を一緒に読みまして、「少しは役に立てたかな」と、ぼつと胸をなで下ろしました。此度の授業のために協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。微力ではありますが、これからも山梨の福祉に貢献していきたいと考えております。



児童からのプレゼント



初めての手引き体験

「盲ろう資料」保存と活用!

募金のお願い

今、当時を知る2,250点におよぶ貴重な資料が、経年劣化により失われてしまう危機に直面しています。当会では資料をデジタル化し、公開することを目標に寄付を募集しています。
どうぞ、ご協力をお願いいたします。

昭和23年、ヘレン・ケラーのように幼くして光と音を失った重度の盲ろう児に人間愛あふれる教育実践が山梨の盲学校で開始されました。この実践は、教師、寮母、盲聾教育研究会(東京大学の梅津八三教授ら)の研究者が一体となって20年にわたり4人の児童生徒に続けられました。盲ろう児はこの実践で点字を覚え、不明瞭ながら発語も出来るようになりました。70歳を超えた今も穏やかに生活しています。

戦後間もない困難な時代に山梨でなされた盲ろう教育は、今日の特別支援教育に多大な影響を与えました。その間の資料は、当時貴重だった16ミリフィルム映像や音声、本人の点字、指導記録、実物の教材などの形で残されています。我が国で初めての盲ろう教育の実践資料は、まだまだ研究の余地を残すものであり、後世に伝えていかなければなりません。



目標金額
500万円

山梨盲ろう教育資料電子化事業実行委員会

連絡先 055-226-3361 (山梨県立盲学校内)

募金のお振込先

郵便振替 00200-2-139489

銀行振込 山梨中央銀行 下飯田支店 普通 254320

<https://blog.goo.ne.jp/mouroukyoiku>



同行援護従業者養成研修のご案内

同行援護制度には、視覚障害者の移動支援時に必要な、「情報支援・情報提供」や外出時における「代筆・代読」の支援を行うことが明記されております。

当法人では「利用者の意向に合った同行援護」が出来るよう「同行援護従業者養成研修」を次のように実施しますので、お知らせいたします。

■一般課程

実施日 平成30年9月30日(日)～10月2日(火)
 申込開始日 平成30年7月17日(火)～
 受講料 12,000円
 定員 30名

■応用課程

実施日 平成30年11月12日(月)～11月13日(火)
 申込開始日 平成30年8月15日(水)～
 受講料 8,000円
 定員 20名

※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。予めご了承ください。
 ※詳しくは「山梨ライトハウス ホームページ」をご覧ください。ホームページにて、日程・申込書をダウンロード出来ます。
 ※ご不明な点がありましたら、青い鳥支援センター坂本宛にご連絡ください。

山梨県視覚障がい者福祉協会相談役の長澤 誠様に旭日双光章

先生の長年の功績が認められ、栄えある受章をされたこと、心からお喜び申し上げます。今後とも一層ご活躍されますこと、お祈りいたします。



長澤 誠 様



第31回県下視覚障害者交流秋季大運動会

山視福協、ライトハウス、青い鳥奉仕団の交流を目的としたスポーツ大会です。多くの皆様のご参加をお願いします。

- 日時 平成30年10月7日(日) 午前9時～
- 場所 盲学校グラウンド
- 競技 出た目でリズム
あおとりウルトラクイズ
味覚の秋 など



頑張るぞ! おー!!



全力疾走!



秋の味覚をゲット

第64回白い杖愛護運動月間行事

①白い杖・盲導犬キャンペーン

- 日時 平成30年11月1日(木)
午前7時30分～8時30分
- 場所 甲府駅南口及び北口 他郡内地区2ヶ所
- 内容 啓発パンフレットとふれあいの鈴などの配付、広報車による甲府市内での啓発活動

②白い杖福祉の集い

- 日時 平成30年11月4日(日)
午前10時～午前11時30分
- 場所 山梨県立盲学校体育館
- 内容 奉仕者知事表彰
白い杖愛護作文・生活体験文表彰
最優秀作文発表

川柳

(七月のライトハウス川柳会から)

浅川和多留 選

幼きのほつくりの音夏祭り

井口 貞子

海の風暑さを中和してくれる

加藤 隆

生きてゆく私が私であるように

河口 竹子

太つてるきゅうりを揉めば母がいる

中村 洋子

古い二人我家自慢の二輪草

細川 一

思いやり忘れ無差別人殺め

高坂 康平

清らかな心浮かべし蓮の花

桑原 梅次

ひまわりは笑顔全開子らを呼ぶ

埜村 和美

この暑さビールの消費半端ない

標 照二

また戻りまた確かめる留守の鍵

佐野 しま

米寿にて孫が気づかい祝い膳

本間 りょう

盆過ぎてあたり賑う蟬の声

斉藤 盛幸

七夕で一攫千金願いごと

中山 伊知郎

風鈴も黙り込んでる炎天下

萩原 満治